

れいほく遊休農地発生防止・解消活動

農委会名：苓北町農業委員会

1 地域の概要

本町は、熊本県の南西部に点在する天草諸島のうち、最も大きな島である天草下島の北西端に位置し、特産のレタス・果樹・畜産を主体としている。

しかし、人口は6,300人を切り担い手である認定農業者も高齢化による減少、生産コストの増大により離農する者も出るなど減少傾向にある。また、農業就業者の高齢化による労働力不足の課題にも直面している。今後は、担い手の育成、労働者の確保を図るとともに、遊休農地の発生防止、解消に取り組んでいく必要がある。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 7人（うち、認定4人、女性2人）
- (2) 推進委員数 8人（うち、認定5人）
- (3) 事務局体制 4人（うち、会計年度任用職員1人）

3 掲げた目標

農業委員会で遊休農地を解消し景観美化活動に取り組む。 約28a



【解消前】



【解消後】

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

国道及び町道沿線の遊休農地を借り受け、コスモスを植え付け、景観美化活動（令和元年度から取り組みを開始）として看板を設置した。

6月下旬から除草作業・耕起を行い、7月下旬から8月上旬に農業委員・推進委員（15名）と地元6保育園（全保育園）の園児、学童（67名）とでコスモスの種まきを行った。園児たちは自分たちで種を播いたことで、保育園のバスで側を通るたびに花の成長を観察し、咲くのを心待ちにしていたようで、農業に触れ、関心を持つきっかけとなった。

10月下旬には各地区において農業委員・推進委員と保育園の園児（63名）で花の摘み取りを行った。園児たちは背丈ほどのコスモス畑に入り花の摘み取りを楽しんだ。

別紙様式①



【除草作業】



【種まき】



【コスモス】



【花摘み】

5 取組みの成果

遊休農地を解消し景観美化活動を実施。 解消農地 約28a

委員自らが遊休農地の解消と景観整備を行った結果、地域の方々も花摘みをされるなど喜ばれ、農業委員会活動をアピールできた。



【園児と一緒に記念撮影】



6 課題と今後の方針等

山間部に存在する再生困難な農地については非農地への移行を進め、後継者のいない優良農地については担い手への集積を基本とし農地中間管理機構と連携をとりながら集積・集約化を推進する。また、次年度は地域計画の策定に向けた地域の話し合いが本格的にスタートするため、まずは担い手への農地の集約を進めるとともに、今後も委員全員で遊休農地の解消、防止に向けた活動を取り組んで行く。